



議会だより

おおたわら市

“題字は引地達雄議長”

平成28年

11月

1日号

No. 177



秋の代表花“コスモス”（滝岡地区）

平成
27
年度

一般会計ほか 8会計決算を認定



委員長
高木 雄大



副委員長
鈴木 央

決算審査特別委員会

なお、当年度の一般会計において継続費
通次繰越及び繰越明許費が翌年度に繰り越
され、特別会計においても繰越明許費があ
り所要の財源として翌年度に繰り越される
こととなりました。

平成27年度の一般会計及び各特別会計を
合計した歳入総額は54億8337万1
860円、歳出総額は52億3230万
9337円、歳入歳出差引残額は22億51
48万2523円であり、決算総額を前年
度と比較すると、歳入歳出それぞれ34億
円の増加となりました。（各会計の詳細は下
記のとおり）

決算の概要

本定例会では一般会計ほか8会計の平成
27年度決算の認定議案が提出され、議員全
員で構成する決算審査特別委員会及び分科
会を設置し、審査を行いました。

一般会計及び各特別会計別決算の状況

(単位:円)

区 分	予算現額	歳入総額(A)	歳出総額(B)	差引残額(A)-(B)
一般会計	36,105,288,526	34,682,630,586	33,463,806,779	1,218,823,807
特別会計	国 保	9,841,700,000	10,113,596,139	467,078,803
	下水道	2,239,500,000	2,170,280,637	206,867,030
	農業集落	205,100,000	204,665,048	15,705,853
	介護保険	6,247,400,000	6,138,797,370	280,838,797
	子育て支援	911,900,000	953,276,732	59,302,900
	後期高齢者	626,038,000	618,758,368	2,073,189
	須賀川財産	1,180,000	1,786,980	792,144
	小 計	20,072,818,000	20,201,161,274	1,032,658,716
合 計	56,178,106,526	54,883,791,860	52,632,309,337	2,251,482,523

企業会計決算の状況

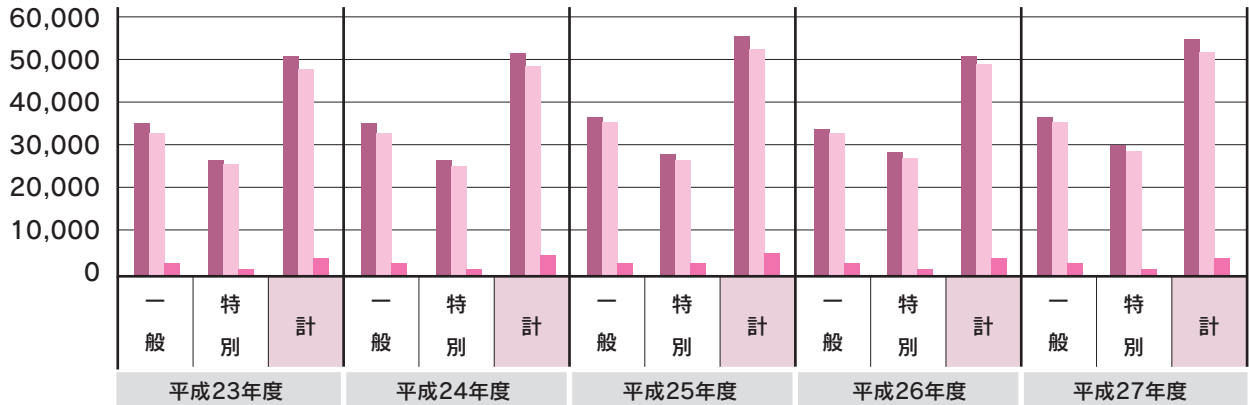
(単位:円)

区 分	予算額	決算額
水道事業会計	収益的収入	1,631,000,000
	収益的支出	1,572,000,000
	資本的収入	266,380,000
	資本的支出	702,240,800

■ 決算規模の推移

(百万円)

■ 歳入 ■ 歳出 ■ 歳計剰余金



一般会計の概要

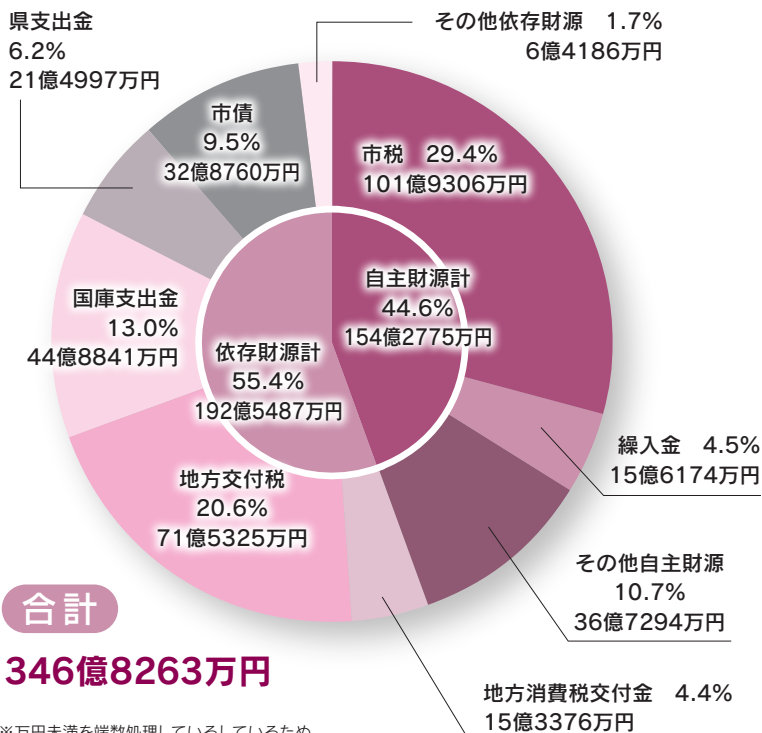
歳入

自主財源の中枢である市税の決算額は、市税徴収率の向上などで個人市民税が増加したものの、市内企業の業績低迷などにより法人市民税が前年度比35.2%の大幅な減少となったため、市民税全体としては6億588万6289円の減少となりました。また固定資産税も1億2373万2975円減少しており、市税全体では7億4127万3416円減少し、市税の歳入に占める割合は29.4%(前年度33.1%)の減となりました。このような状況などから自主財源全体においても5億3138万8327円の減少という結果となりました。

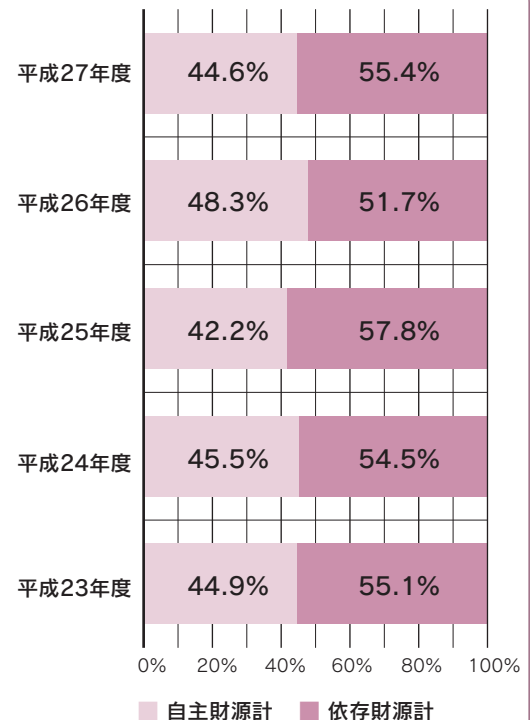
一方、地方交付税などの依存財源は前年度と比較して、地方消費税率の引き上げや社会資本整備総合交付金の増加、また大田原小学校及び紫塚小学校改築に伴う市債等が増加したことで、全体として21億5583万3532円の増加となりました。

以上の結果、歳入全体では16億244万5205円(4.9%)増加という結果となりました。

■ 平成27年度 歳入決算グラフ



■ 過去5年間の財源別構成比の推移



歳出

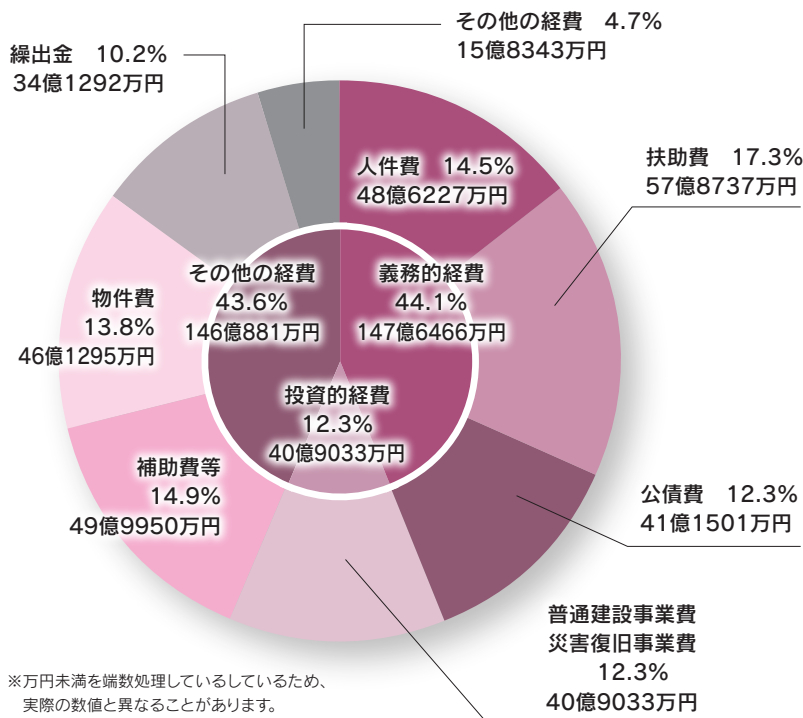
歳出決算額は、予算現額に対して92・7%の執行率であり、前年度と比較し18億4570万5188円の増加となりました。

科目別にみた決算額の主な構成比は民生費29・5%が最も高く、次いで教育費14・5%、公債費12・3%、総務費12・1%、土木費11・5%、衛生費7・3%及び消防費4・4%の順となっています。

前年度決算額と比較すると、生活保護費の増加や那須地区消防本部庁舎用地の再取得費、小学校改築等により、民生費、消防費及び教育費等が増加し、住宅除染経費等や雇用創出総合対策事業費の減などにより総務費、労働費等が減少する結果となりました。

なお、人件費、扶助費及び公債費を合わせた義務的経費は前年度と比較し、3億814万5千円（2・1%）増加となっています。

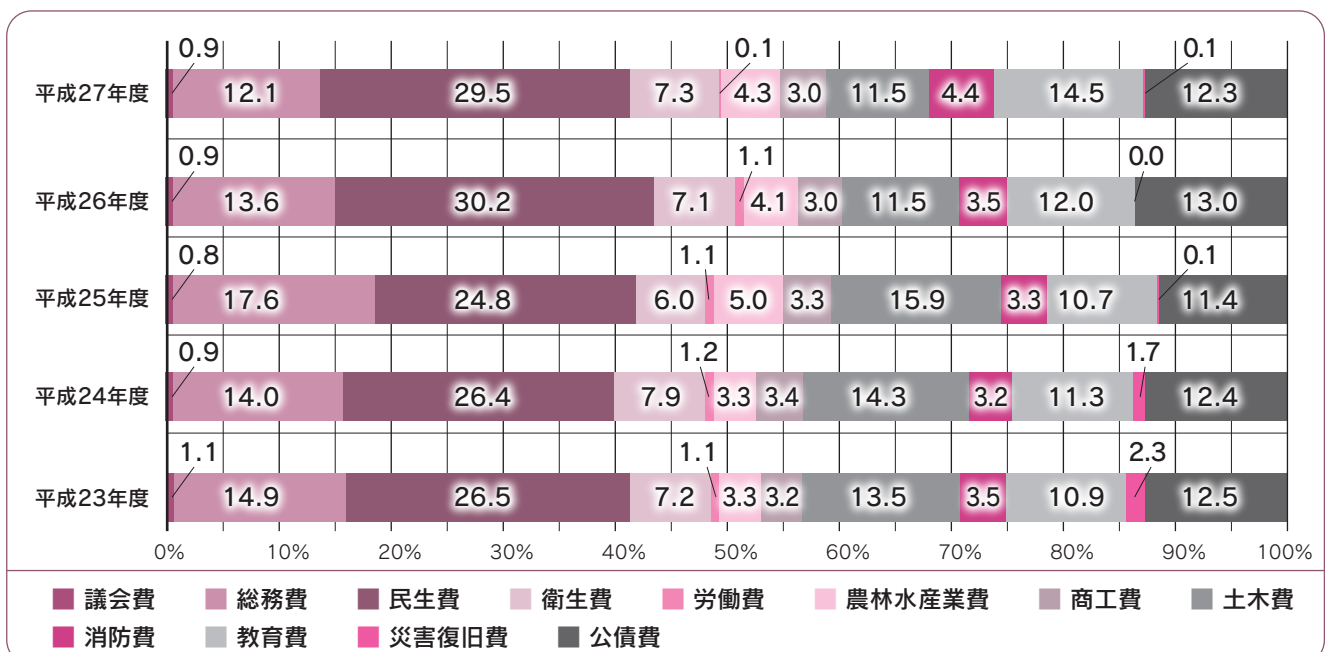
■ 平成27年度 歳出決算グラフ



決算審査特別委員会の日程

9月7日	- 正副委員長の互選 - 分科会の設置
9月12日	- 第1分科会 - 第2分科会
9月13日	- 第3分科会 - 第4分科会
9月14日	決算審査全体会

■ 過去5年間の科目別構成比の推移



財政の健全化に関する状況について

本市の平成27年度決算に係る財政状況は、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に規定する健全化判断比率及び資金不足比率の基準内であり、平成26年度決算と比較すると、実質公債費比率は0.7ポイント、将来負担比率は5ポイントそれぞれ改善し、直近3年間で見て改善傾向で推移しており、本市の財政は健全に運営されていると認められます。

(単位：％)

健全化判断比率及び 資金不足比率	平成27年度 決算に係る比率	早期健全化基準 又は 経営健全化基準	備 考	
			平成26年度 決算に係る比率	平成25年度 決算に係る比率
1 実質赤字比率	—	12.51	—	—
2 連結実質赤字比率	—	17.51	—	—
3 実質公債費比率	10.0	25.0	10.7	11.4
4 将来負担比率	47.4	350.0	52.4	60.9
5 資金不足比率				
(1) 水道事業	—	20.0	—	—
(2) 下水道事業	—	20.0	—	—
(3) 農業集落排水事業	—	20.0	—	—

(注：「—」は、赤字又は資金不足を生じていないため当該数値については該当なしを表す。)

	27年度	26年度
経常収支比率	94.6%	94.2%
財政力指数	0.650	0.652

※**実質公債費比率**…市の収入に対する借金返済の割合を示すもの。18%以上だと、新たな借金をするために国や都道府県の許可が必要。

※**将来負担比率**…将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率であり、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すもの。

※**経常収支比率**…人件費や公債費など義務的経費に一般財源がどの程度費やされているか示すもの。

※**財政力指数**…地方公共団体の財政力を示す指数で、指数が高いほど財源に余裕がある。



決算審査の様子

平成28年
第3回

市議会定例会

平成27年度 決算認定

平成 28 年 第 3 回 定例会は、去る 9 月 5 日から 20 日までの 16 日間を会期として開かれました。

本定例会に市長から提出された案件は、平成 27 年度健全化判断比率及び資金不足比率と市長の専決処分事項の報告 2 件、監査委員、教育委員会委員、人権擁護委員などの人事案件 4 件、那須地区広域行政事務組合規約の一部変更議案 1 件、平成 27 年度水道事業会計未処分利益剰余金処分についての議案 1 件、平成 27 年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算等の認定議案 9 件、新庁舎工事請負契約など契約議案 2 件、平成 28 年度一般会計、特別会計補正予算議案

5 件など合わせて 22 議案が提出されました。

9 月定例会は決算議会であります。前会計年度の歳入歳出予算の執行に関し、議会は認定する権限があるため、常任委員会ごとの分科会と全議員で構成する決算審査特別委員会を設置して審査を行い認定いたしました。

本会議最終日には議員提案 1 件を追加上程されたほか、各常任委員長及び決算審査特別委員会委員長から委員会における付託案件の審査結果の報告を受けた後採決を行いました。その結果、全 23 議案、原案通り可決・認定いたしました。

一般質問については、3 日間で 17 人の議員が質問を行いました。詳細については次ページ以降をご覧ください。

平成28年 第3回大田原市議会定例会 審議された議案等と結果

議案番号	議案件名	結 果
報告第8号	平成27年度健全化判断比率及び資金不足比率について	報告受理
報告第9号	市長の専決処分事項の報告について(損害賠償の額の決定及び和解について)	報告受理
議案第47号	大田原市監査委員の選任につき同意を求めることについて(花塚信義氏・再任)	同意(全会一致)
議案第48号	大田原市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて(川上聖子氏・再任)	同意(全会一致)
議案第49号	大田原市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて(森泉氏・新任)	同意(全会一致)
議案第50号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(熊田幸雄氏・新任)	推薦することに 異議なし(全会一致)
議案第51号	那須地区広域行政事務組合規約の一部変更に伴う協議について(栃木県が定める救急医療施設運営費等補助金交付要領の改正によって、共同処理の内容等の変更に伴い協議するもの)	原案可決 (全会一致)
議案第52号	平成27年度大田原市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について(未処分利益剰余金1億7,668万1,330円のうち8,074万8,364円を減債積立金に積み立て、残余全額を自己資本金に組み入れるもの)	原案可決 (賛成多数)
議案第53号	平成27年度大田原市一般会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	認定(賛成多数)
議案第54号	平成27年度大田原市国民健康保険事業費特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	認 定 (賛成多数)
議案第55号	平成27年度大田原市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	認定(賛成多数)
議案第56号	平成27年度大田原市農業集落排水事業特別歳入歳出決算の認定を求めることについて	原案可決(全会一致)

議案番号	議案件名	結 果
議案第57号	平成27年度大田原市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	認定(賛成多数)
議案第58号	平成27年度大田原市子育て支援券特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	認定(賛成多数)
議案第59号	平成27年度大田原市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	認定(賛成多数)
議案第60号	平成27年度大田原市須賀川財産区特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて	認定(賛成多数)
議案第61号	平成27年度大田原市水道事業会計決算の認定を求めることについて	認定(賛成多数)
議案第62号	工事請負契約について(大田原市新庁舎建設工事:契約金額45億5,385万3,480円)	原案可決(賛成多数)
議案第63号	工事請負契約の変更について(紫塚小学校管理特別教室棟増改築工事の変更:金額1,220万400円の増額)	原案可決 (賛成多数)
議案第64号	平成28年度大田原市一般会計補正予算(第2号)(補正金額:4億1,470万円)	原案可決(全会一致)
議案第65号	平成28年度大田原市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号) (補正金額:108万円)	原案可決 (全会一致)
議案第66号	平成28年度大田原市下水道事業特別会計補正予算(第1号) (補正金額:7,000万円)	原案可決 (全会一致)
議案第67号	平成28年度大田原市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) (補正金額:980万円)	原案可決 (全会一致)
議案第68号	平成28年度大田原市介護保険特別会計補正予算(第1号) (補正金額:2億1,056万円)	原案可決 (全会一致)
議員案第3号	タブレット端末等の導入にかかる予算の拡充を求める意見書の提出について	原案可決(賛成多数)

平成28年 第3回市議会定例会における表決状況一覧 (賛否が分かれた議案)

議案	秋山 幸子	印南 典子	星 雅人	鈴木 央	滝田 一郎	弓座 秀之	櫻井潤一郎	高木 雄大	高瀬 重嗣	菊池 久光	深澤 賢市	中川 雅之	大豆生田春美	小池 利雄	藤田 紀夫	君島 孝明	前野 良三	高野 礼子	黒澤 昭治	引地 達雄	本澤 節子	小野寺尚武	千保 一夫	高崎 和夫	小林 正勝	前田雄一郎
議案第52号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	○	○
議案第53号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	○	○
議案第54号	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	○	○
議案第55号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	○	○
議案第57号	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	○	○
議案第58号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	○	○
議案第59号	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	○	○
議案第60号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	○	○
議案第61号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	○	○
議案第62号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	○	○
議案第63号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	欠	○	○	○	○
議員案第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	○	○

(○:賛成 ×:反対 欠:欠席 ※引地達雄議長は採決に原則加わりません)

「市民5分間演説」
をしてみませんか

大田原市議会では、市内に在住、在勤または在学する方で、議案に対する賛否や市の一般事務について、自分の意見を自由に発言することができ「市民5分間演説」を実施しております。

ぜひ議員の前で演説をしてみませんか。市民の皆様参加を待ちしております。詳細については議会事務局までお問い合わせください。

(演説申込について)
演説を希望される方は、土曜日、日曜日、祝日を除く、定例会の各常任委員会開催日3日前の正午までに議会事務局に市民5分間演説申込書(様式第1号)を提出してください。なお、演説に関する詳細については市議会ホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。

地域防災について



菊池 久光 議員

一般質問



小池 利雄 議員

大田原ブランドの推進について

質問…大田原ブランド推進協議会の進捗状況と今後の見通しについて伺います。

答弁…近年、地域のイメージを活用しつつ、一般の農林水産物や食品との差別化を図り、その価値、評価を高めようとする地域ブランド創出の取り組みが全国各地で活発に行われています。本市も、自然豊かな環境のもとで生産された農産物や加工品

等を市内外に継続的に情報発信を行うことにより、大田原市そのものがブランドとなり、そこから新たな産業が生まれ、雇用の確保や定住促進につながっていくものと期待をしています。特に、本市の肥沃な大地で生まれ育った農畜産物については、市場においても高い評価を受けていることから、このブランド化の推進は本市の産業振興に

としては不可欠なものです。現在考えている支援策ですが、まず統一マークについて検討したいと思います。関係者の話によると、既に独自のマークがあつて、シールが幾つも張られるのはいかななものかというような話もあることから、これについては関係者の方々と協議をしながら進めていきたいと思っています。

質問…地域防災のハンドブックを作成してはどうかと考えるが、予定について伺いたい。

答弁…現在、昨年 9 月の関東・東北豪雨による河川氾濫を踏まえ、国が管理する河川において浸水想定区域の見直しが行われており、今後県が管理する河川においても浸水想定区域の見直しが予定されており、ハザードマップについても見直しが行わ

れる予定です。

浸水想定区域の見直しによる改定時において、総合的に検討し、次期改定の際には防災情報の内容の充実を図っていく形で、何らかの形のマップ等を作成していきたいと考えております。

質問…東京都の教育委員会が作成した東京防災ノートというものがある。防災教育の中では必要かと思うが考えを伺いたい。

答弁…議員ご提案の防災ノートは、児童生徒一人ひとりが防災を自分のこととして認識するためには有効なものであると考えておりますので、今後防災ノートを使用している自治体でどのように活用されているのか精査をすることから始めたいと思っております。

庁舎建設の入札について



深澤 賢市 議員

一般質問

オリジナル婚姻届について



大豆生田 春美 議員

質問…本市オリジナル婚姻届を作ってみてはと思うが、考えを伺いたい。

答弁…戸籍法施行規則及び通達の定める様式に沿っていることを前提として、法定規定項目、サイズ、その他の記載内容を満たしていればオリジナルの婚姻届書を作成できることになっていきますので、大田原市においても祝福の気持ちを込めて婚姻を

された二人の思い出に残るような、本市オリジナル婚姻届の作成に向けて今後も取り組んでいきたいと思います。

質問…いつを目標に作っていただけのか伺いたい。

答弁…来年度当初から実現していきたいと思えます。

質問…記念撮影のできる大型専用パネルを作成し、設置をしていくことはできないか伺いたい。

答弁…現在、婚姻届等戸籍の受付をしている市民課は、仮設庁舎A棟1階に設置してありますが、仮設庁舎のためロビースペースが大変狭く、記念撮影用の大型パネルを設置する場所の確保が大変難しい状況にあります。今後、新庁舎竣工に合わせて設置できるよう準備を進めていきます。

質問…庁舎建設の入札応募会社が、わずか3社であったということについて執行部の考えは。

答弁…新庁舎の建設に当たり、高度な技術やノウハウを持った施工者を選定するために技術提携案及び価格等を総合的に評価する総合評価方式を採用しました。

審査に当たり副市長・市職員3名・学識経験者3名の計7名の審査員で構成する大田原市新庁

舎建設工事総合評価落札方式審査会を設置しました。審査の方法は、落札者決定基準をもとに各社から提案された提案書などの内容について提案事項、提案項目、価格項目それぞれを点数化し、合計点が最も高い者を落札者とするものです。

提案項目については、技術協力業務の実施方針や市内業者の活用方法について評価項目ごとに

採点しました。価格項目については、品質を下げずにコストを下げると技術提案、いわゆるVE[※]提案に関する書類の提出を求めました。入札金額は「安藤・間」が42億6850万円、「清水建設」が43億6千万円、「大成建設」が49億8千万円であり、その結果、安藤・間を落札者として選定しました。

※VE (Value Engineeringの略)
…品質を確保しつつコストを削減する方法

本市の移住・定住促進 の取り組みについて



弓座 秀之 議員

質問…移住・定住のセミナーを都市部で開催する考えがあるか伺います。

答弁…本年1月に栃木県が移住専門員を配置しております東京都にある「ふるさと回帰支援センター」に入会し情報提供を行っております。また今月(9月)に、市内に設置した「移住・定住サポートセンター」の業務の中にはセミナーの開催も含まれています。

今月には、ふるさと回帰支援センターで大田原市移住・定住セミナーを開催し、大田原市に移住した方々からアドバイスを頂く予定です。今回を契機に今後も開催したいと思っています。

質問…空き家を活用した(大田原暮らし)体験ツアーの開催について伺います。

答弁…空き家を活用してはどうかとの提案をいただきましたが

今年度市内の空き家等の調査を行うこととしており、それらの結果を踏まえ活用方法について検討していきます。

質問…移住・定住アドバイザー制度の創設について伺います。

答弁…大田原市に移住した方々から協力を得て、セミナーを始めさまざまな機会でご支援を頂けるよう、アドバイザー制度の創設を検討していきます。

一般質問



滝田 一郎 議員

産地パワーアップ 事業等を活用した 園芸振興について

質問…園芸農家への周知及び見通しについて伺います。

答弁…より多くの農業者に本事業に取り組んでいただくため那須野農業協同組合と連携して各作物部会への周知を図っています。取り組み見通しは、事業費ベースで7417万4000円の要望を受けております。今後第3回目の要望調査を実施することとしておりますので、引き

続き掘り起こしに努めていきます。

質問…産地パワーアップ事業等の国庫補助事業への市上乗せ補助金新設について伺います。

答弁…補助率の均衡を図っていることから、現時点では考えておりません。

質問…後継者申請分に特化してでも、雇用と一緒の考え方で未来先行投資をやらなくてはだめ

なのではないですか。

答弁…やらないということではなくて、慎重に検討させていただきたいということです。

質問…ネギの共同選別施設の建設について伺います。

答弁…具体的な提案がございましたら、関係市町とも協議をしながら検討していきます。

農業の振興について



櫻井 潤一郎 議員

一般質問



星 雅人 議員

那須塩原駅東口エレベーターの設置について

質問…那須塩原駅東口エレベーターの設置について、取り組みの進捗状況を伺います。

答弁…駅の所在地の那須塩原市が大田原市、那須町、那珂川町に協力と呼びかけ、平成27年3月に4市町で組織するJR那須塩原駅東口におけるエレベーター整備協議会を設置しました。その後、平成27年11月に那須地域定住自立圏の中心市である

質問…集落営農の組織化・法人化への支援の実績について伺います。
答弁…全国的に農業従事者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加など農業を取り巻く環境が厳しくなる中、特に担い手の少ない地区においては地域の合意を前提に集落営農の組織化、法人化が最も重要と考えているが、人と農地に関する問題を解

那須塩原市が策定しました那須地域定住自立圏共生ビジョンに位置づけ、定住自立圏事業として実施していきます。現在の進捗状況ですが、那須塩原市が主体となりJR東日本との協議を進めており、エレベーター設置工事の設計に先立ち、東口広場の歩行者動線や連絡通路本体及び支障物件への影響を勘案した基本計画を策定したところです。

今後、那須塩原市を主体としてJR東日本と協議を重ねた上、実施設計の策定、設置工事に着手し、エレベーター整備協議会において事業費の負担割合や設置後の維持管理について検討を進めます。設置時期は明確となっていないませんが、本市としては早期設置に向け、できる限りの協力をしていきたいと考えています。

決しなければならないため、地域農業の将来について各地区で検討することが重要であることから、平成24年8月に人・農地プランを作成し、集落営農についても検討していただけたところです。

現在集落営農から法人化された件数は3件あり、那須野農業協同組合が事業主体となり、地域の状況に合わせた集落営農組

織の法人化を一層加速させるための集落営農法人支援加速化事業に取り組んでおり、本市は栃木県とともに財政支援をして、平成28年度は、3つの集落営農組合の法人化を目指しています。

今後も集落営農の組織化、法人化の支援については、人・農地プランを柱とし、引き続き積極的に補助事業等を活用しながら支援をしてまいります。

「非核平和都市宣言」を
掲げる大田原市での原爆
写真展開催について



秋山 幸子 議員

質問…大田原市では、1986年10月1日に、「世界の恒久平和は人類の願いである。つくらず、持たず、持ち込ませずの非核三原則を堅持すること」をすべての人々とともに訴え、緑と光と安らぎのある豊かな自然と平和を希求する市民の願い達成のため、ここに大田原市は非核平和都市を宣言する」と高らかにうたい上げています。1945年8月

6日、アメリカ軍が投下した原子爆弾が広島を壊滅させました。惨状を伝える写真が数多く残されています。広島・長崎の実相を伝えるためにも、原爆写真展を開催するお考えはあるかお聞きます。

答弁…県内においても全ての市、町で宣言を行っており、二度と過ちを繰り返すことのないよう、唯一の被爆国として宣言文に込

められた核兵器の廃絶と世界の恒久平和を願うことは各自治体とも同じと考えている。

原爆写真展の開催については、市民の皆様への平和事業の一環として取り組むことは大変有意義な事であると考えている。本市での会場として、新庁舎が完成した際に、市民ギャラリー等を活用して開催したいと考えています。

一般質問



千保 一夫 議員

日本版CCRC(首都圏の
高齢者の地方移住推進)への
取り組みは慎重にすべき

質問…CCRC構想は「今後急増が見込まれる首都圏の高齢者を「人口減少により活力を失っていく地方」に移住させ、2つの問題を一挙に解決しようとする夢のような構想だ。しかし、現在すでに深刻な高齢化問題を抱えている地方自身にとって、失礼ながら介護予備軍とも言える首都圏の中高齢者を喜んで招致するには、あまりにも将来リ

スクが大き過ぎる。また同様の努力をしている他地域と競争して、移住・定住者を奪い合い、自分のところだけは、と生き残りをかけているが、もはや人口減少を前提として、現在市民である高齢者対策を初め、市民の安全安心と大田原みずからが輝いているような施策の充実に邁進すべきと考えるがどうか。

答弁…人口減少の解消、地域の

活性化に資する事業としてCCRC構想の策定に取り組んでいる。将来にわたる医療、介護にかかる費用負担の増大が懸念されることは承知しているが、アクティブシニア等の移住による消費活動の活性化や就労による経済活動拡大などの経済波及効果は、医療・介護費などの社会保障費負担増より上回るという試算も出ている。

新庁舎の整備計画について



高野 礼子 議員

質問…新庁舎整備後の各支所の利活用計画について伺いたい。

答弁…新庁舎は、集約性の高い庁舎として整備し、湯津上庁舎からは教育委員会、選挙管理委員会、監査委員会の各事務所が本庁舎に移ります。新庁舎完成後も湯津上支所、黒羽支所、両郷出張所、須賀川出張所の2支所2出張所体制は継続をします。湯津上庁舎は総合窓口課が残

るほか、会議室及び2階の図書室は現在のまま使用する予定で、本庁舎に移転する部署の空きスペースの面積は900平方メートルとなります。湯津上村役場として平成16年に鉄筋コンクリートづくり、地上2階地下1階建て述べ面積は3328平方メートルの建物であり頑強でかつ周りの牧歌的な風景と調和のとれたすばらしい庁舎であり愛

着のある施設でもあります。湯津上庁舎の利活用を検討するにあたり、これらの経緯を踏まえ、周辺には農協、保育園、改善センター、多目的ホール、温泉施設等もあります。このようなことも含め、湯津上地区の自治会長と意見交換会も行いました。新庁舎完成までの間に活性化に資するような有効活用を検討していきます。

一般質問



中川 雅之 議員

市政懇談会における各地区の要望と本市の対応について

質問…平成28年度市政懇談会における各地区の要望に対する本市の回答と対応について伺いたい。

答弁…市政懇談会は、広聴事業の一環として自治会代表の皆様方と市長が、本市の施策や各地区が抱える問題等について直接懇談することにより、地元の皆様方の声を市政に反映させるとともに、市制への参加意識の高揚を図ることを目的に各地区に

おいて、毎年1回開催しており、本年度は、10地区、186名の自治会長、自治公民館長（議員は地元地区オブザーバー）の出席を賜り実施いたしました。懇談会での課題については、担当課より対応状況を議事録とともに、自治会長宛に送付予定になっており、意見等についても、昨年度までは、自治会長のみに対応をお知らせしていましたが、

本年度からは、市ホームページにおいて懇談内容を公開していきたいと考えております。

質問…議員のオブザーバー参加については、他の地区への参加が出来ないものか伺います。

答弁…提案をいただきましたので、議員の共通認識をいただければ検討していきたいと考えております。

道の駅那須与一の郷 について



君島 孝明 議員

一般質問



本澤 節子 議員

ネオニコチノイド系 農薬の危険性について

質問…ネオニコチノイド系農薬

はたばこのニコチンに似て発がん性があり、虫を殺す毒性の強い農薬です。ミツバチの大量死など象徴的な出来事が起っており人間への影響は、特に子供の脳、神経の発達に影響すると警告が出ています。発達障害、自閉症、糖尿病などの発症に影響するとの海外の研究も出ており、無人ヘリ・ドローンによる空中

散布はやめるべきです。

答弁…この農薬は水稻のカメムシの防除に使われ、他の殺虫剤に比べ、人や水生動物に対する毒性は弱いとされており広く使われています。散布については、養蜂業者、保育園、学校、地域へ実施時期の周知や注意喚起を徹底して実施しております。

質問…EUでは使用禁止、アメリカは4種類の新たな使用を原

則禁止。韓国も規制に乗り出しています。ネオニコチノイド系農薬耐性ウンカの発生が大田原市でも出ていると聞きますが。

答弁…現在、国は使用規制をしていません。本市での使用中止は考えておりません。日本在来ヒメトビウンカが薬剤耐性を保有との報告はありません。

質問…利用者利便を考え調整池を駐車場にすべきと思うが本市の考えを伺います。

答弁…調整池を移して駐車場にすべきか、ほかの方策は無いのか大変苦慮しましたが、蓋をかぶせて調整池機能を残しながら駐車場にしていこうという提案をいただきましたので、できるだけ提案に沿うような工事ができるかできないか、今後積極的に

関わっていきたいと思っております。

質問…道の駅で買い物をした後わざわざ遠い駐車場へ荷物を持っていくのです。雨が降った時などは傘をさして持っていくのです。早急に工事をお願いしたいと思います。

答弁…確かに、酷暑の折、または雨の降っている中では寂しさを感じる風景を何回も見させて

いただいておりますので、なるべく早く財源の確保のめどがついた折に実現したいと思っております。

点字ブロックの整備
について

鈴木 央 議員

質問…道路、歩道の整備に伴い点字ブロックが整備されることは大変喜ばしいことです。目の

不自由な方にとり点字ブロックは大きな支え、必要不可欠なものです。本市に於ける設置基準、設置計画等についての考えをお伺いします。また、併せて設置済み既存の点字ブロックの中には設置後の道路工事、経年劣化等により傷んでいるものも散見

されます。あわせて市の考えをお伺いします。

答弁…点字ブロックの整備については、視覚障害者誘導用ブロック設置指針により進められており、本市では市道市役所通り線、市道市役所前線、市道南金丸松木沢線の行政地区の一部に設置されております。

地調査の上保守対策に努めていきますので、よろしく願います。

なお、点字ブロックの劣化が進んでいる箇所については、現

一般質問



小野寺 尚武 議員

都市計画税は廃止の
方向性で考えるべき

質問…都市計画税は恒久財源と考えているのか。

答弁…都市計画税は都市環境を整備するための事業として街路・公園整備・下水道・市街化開発・土地区画整備事業等が実施されることにより土地や家屋の利用価値が向上し、その所有者の利益が増大することが認められるという、利益関係に着目をいたしまして土地及び家屋の所有者

に課せられる市町村税で、これらの経費に充てるための目的税です。

質問…土地をベースにした課税システムは超高齢化社会にとつて、ますます厳しいと思うが。

答弁…少子高齢化の進展によりわが国は高齢、人口減少社会を迎えます。このような状況下においては、資産はあるが所得の少ない高齢者が増えていくこと

が予想されます。資産に対して高齢化のための対策を講ずることは非常に困難であり税の体系上、所得税・消費税・資産税等の間でバランスのとれた体系に配慮していくことが必要です。

都市計画税の課税についてはその必要性及び重要性を考慮し引き続き納税者の理解を得て負担についても公平を確保することが重要と考えています。

平成28年 **12月定例会**

開催のお知らせ

会 期 (予定)

12月5日(月)

、

12月15日(木)

※ 一般質問内容など詳細につきましては後日、議会ホームページで公開いたします。



市議会HPはこちらから

市議会では インターネットによる 生中継をしています

●アクセス方法

ご自宅等のパソコンから生中継をご覧いただく際は、市のホームページの「**大田原市議会**」から「**議会中継**」のページへお進みください。また、タブレット端末及びスマートフォンからも視聴できます。

なお、本会議の録画映像も市ホームページにて配信しておりますのでぜひご覧ください。



●大田原市ホームページ

<http://www.city.ohatawara.tochigi.jp/>

●お問い合わせ先

大田原市議会事務局 ☎23-8714

一般質問



印南 典子 議員

大田原市の防災減災 について

質問…大田原市地域防災計画に「災害時優先携帯電話」を登録するところがあるが、登録現状は。

答弁…2種類あり、一つは災害用の携帯電話で危機管理課に配備しており、もう一方は衛星回線通信とした災害用の電話を配備しております。なお、消防団員には配備されておられません。

質問…特別な料金は掛かりませんか。災害の救助や消火にあたる消防団員の方に「災害時優先携帯電話」を登録することは災害時に繋がる確率は確実に上がり、情報提供や収集の選択肢も広がり、また災害応急業務をする方の役割認識を高めることに繋がると思うが、考えを伺います。

答弁…消防団幹部と協議し、その方向で対応していきたいと考えています。

質問…本市には、よく出来たハザードマップがありますがハンドブックタイプの方が携帯するにも便利で、広告費を払って協賛してくれる企業を募れば公費削減が可能だと思います。この点について伺います。

答弁…公民連携事業は大変重要で、次期改定の時には積極的に検討していきたい。

**意見書
提出**

9月定例会の最終日に議員より「タブレット端末等の導入にかかる予算の拡充を求める意見書の提出について」(案)が議長に提出され、本会議において議員案第3号として上程し、可決いたしました。なお、この意見書につきましては、議長において関係機関へ送付いたしました。

**タブレット端末等の導入にかかる予算の拡充を求める意見書**

子どもたちに豊かな教育を保障することは、社会の基盤作りにとってきわめて重要であります。国は、2020年までに小中学生の児童生徒1人に1台のタブレット端末の導入を掲げていますが、地域経済は穏やかに改善しているものの税収の低迷は依然として続いており、また、平成18年に改正された義務教育費国庫負担金の減少により、地方自治体独自の教育予算の確保は限界にきています。

I C Tの推進、特にタブレット端末の授業での活用は、子どもたちの学習に取り組む意欲や態度が普段の授業より、明らかに向上しているとは感じていますが、市内小中学校には1クラス分のタブレット端末しか設置できていない状況にあります。

I C Tを活用した授業を参観しましたが、教員は電子黒板と連動した児童生徒へのタブレット端末に映像や写真を配布し、児童生徒から回答や意見を電子黒板に投影するといった授業を行っていました。タブレット端末を使用した授業は、教室内にいる全児童生徒の理解度を教員が把握しながら授業を進める双方向性の取れた授業であり、子どもたちの思考力を育くむ上でも大変有効です。

しかしながら、地方財政が逼迫している中、学校施設、教材費、就学援助・奨学金制度など教育に掛かる費用は、年々増加をしており教育条件の自治体間格差が広がってきています。このようなことから、自治体の財政力の違いによって、子どもたちが受ける教育水準に格差があってはなりません。

教育予算を国全体として、しっかりと確保・充実させる必要があることから、下記の事項の実現について要望いたします。

記

- 1 2020年までに小中学校の児童生徒1人に1台のタブレット端末の整備をすすめるための制度の確立及び予算措置を講ずること
- 2 電子黒板、電子教科書、無線LAN工事及びインターネット等の使用料等について、必要な予算措置を講ずること
- 3 教員等のI C T活用指導力の向上を目指すため、教員等を育成するアドバイザーや教員のI C T活用をサポートするI C T支援員の雇用費用の予算措置を講ずること

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出する。

平成28年9月20日

栃木県大田原市議会議長

引 地 達 雄



提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、文部科学大臣

協議会及び委員会の内容

7月～9月

全員協議会

7月15日

(報告事項)

- 1 次期大田原市総合計画基本構想パブリックコメントの実施について
- 2 第36回与一まつりの開催について
- 3 議会報告会の結果について

8月12日

(報告事項)

- 1 大田原市新庁舎建設工事の落札者の決定について
- 2 平成27年度男女共同参画に関する年次報告書について
- 3 平成28年度大田原市防災訓練の実施について
- 4 大田原市地域防災計画及び大田原市水防計画の配布について
- 5 敬老関係事業について
- 6 第6回幸齢者スクールの開催について
- 7 大田原市議会議員定数等に関する特別委員会の経過報告について
- 8 那須地区広域行政事務組合議会臨時会報告について
- 9 大田原グリーン・ツーリズム推進協議会の総会報告について

8月29日

(報告事項)

- 1 市内中学校部活動中の事故について
- 2 議会報告会における市民の意見等に対する検討結果の報告について
- 3 議会運営委員会行政視察の報告について

9月20日

(報告事項)

- 1 第2次大田原市行政改革大綱に基づく行政改革年度別実施計画(平成27年度実績及び計画期間全体)の実施状況報告について
- 2 「第14回大田原市文学サロン」映像と文字」の開催について
- 3 那須地区消防組合議会臨時会報告について

総務常任委員会

9月12日

- 1 付託議案の審査

民生常任委員会

8月10日

- 1 所管事項調査

8月12日

- 1 所管事項調査

建設産業常任委員会

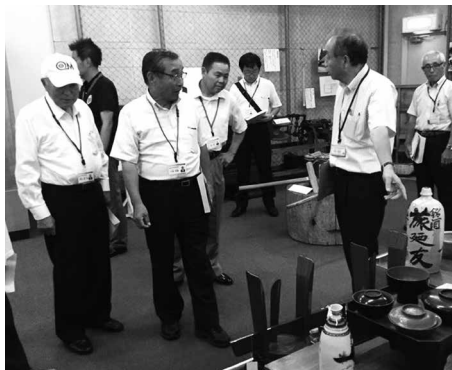
9月13日

- 1 付託議案の審査

文教常任委員会

8月10日

- 1 所管事項調査



歴史民俗資料館にて

9月13日

- 1 意見書案の審査

議会運営委員会

8月29日

- 1 平成28年第3回市議会定例会の運営について

- 1 議員案について

決算審査特別委員会

9月7日

- 1 委員長及び副委員長の互選について
- 2 分科会の設置について
- 3 会議日程について

9月12日

- 1 各分科会(第1分科会、第2分科会)

9月13日

- 1 各分科会(第3分科会、第4分科会)

9月14日

- 1 全体会

議員定数等に関する特別委員会

7月11日

- 1 各会派からの議員定数報告及び無会派議員の議員定数に関するアンケート結果報告について
- 2 議員定数報告を受けての今後の進め方について

8月1日

- 1 議員定数等に関する特別委員会の経過報告(案)について

9月5日

- 2 議員報酬について

9月28日

- 1 議員報酬及び政務活動費について

9月28日

- 1 議員定数等に関する特別委員会結果報告書(素案)について

議会活性化特別委員会

9月20日

- 1 今後の計画について

議会広報広聴委員会

7月11日

- 1 議会だよりの発行について
- 2 議会報告会の報告書について

9月21日

- 1 議会だよりの協議について

- 2 議会報告会に関する意見交換会について

議
会
日
誌7
月

- 11日 ○広報広聴委員会
○議員定数等に関する特別委員会
14日 ○西尾市議会行政視察受入
15日 ○全員協議会
○栃木県市議会議長会議及び研修会

- 19日 ○那須地区議員交流会
20日 ○敦賀市議会行政視察受入
21日 ○城陽市議会行政視察受入
27日 ○長門市議会行政視察受入

8
月

- 1日 ○議員定数等に関する特別委員会
2日 ○議会運営委員会行政視察(三重県四日市市、三重県鳥羽市、愛知県知多市4日まで)
5日 ○寒河江市議会行政視察受入
9日 ○那須地区広域行政事務組合議会臨時会
10日 ○民生常任委員会所管事項調査
12日 ○文生常任委員会所管事項調査
○全員協議会
○民生常任委員会所管事項調査
24日 ○那須地区消防組合議会臨時会

- 26日 ○県北5市議長会議
29日 ○全員協議会(臨時)
○議会運営委員会

9
月

- 5日 ○平成28年第3回市議会定例会招集(本会議)
7日 ○議員定数等に関する特別委員会
○本会議(一般質問)
8日 ○決算審査特別委員会
○本会議(一般質問)
9日 ○本会議(一般質問)
12日 ○総務常任委員会
○決算審査特別委員会第1及び第2分科会
13日 ○建設産業常任委員会
○文教常任委員会
14日 ○決算審査特別委員会第3及び第4分科会
20日 ○議会運営委員会
○本会議(議決)
21日 ○議会活性化特別委員会
28日 ○広報広聴委員会
○議員定数等に関する特別委員会
29日 ○那須市町村議会議長会臨時総会及び勉強会
○鳩山町議会行政視察受入

委員会行政視察報告

議会運営委員会

8月2日、4日(所管事項調査)

一 三重県四日市市

【議会報告会について】

定例議会ごとに議員が直接地域に出かけ、開催している。また出席者を増やすために、土曜日に実施する等の工夫がなされている。

二 三重県鳥羽市

【真珠会議について】

鳥羽市の名誉市民で真珠王の御木本幸吉氏にちなんだ「真珠会議」を6月定例会に開催し、議場において市内の小学生や市民団体等による手作りの「レセプション」を開催している。

【議会報告会について】

議会報告会は、平成21年度から6年間実施されてきたが、今年度は休止しており、新たな議会報告会のあり方を検討している。

三 愛知県知多市

【議会活性化について】

平成25年度に議会基本条例が施行され、地域主権時代にふさわしい市民の代表機関として改革を進めている。

【議会報告会について】

議会報告会を日曜日に市民体育館大会議室にて、全議員が一堂に介して、常任委員会報告と意見交換会を実施している。



知多市役所にて

質問通告者と質問事項

※11月下旬頃にホームページで会議録が公開されます。

○小池 利雄 議員

- ① 防災対策の取り組みの推進について
- ② 大田原ブランドの推進について
- ③ 防犯カメラの設置について

○菊池 久光 議員

- ① 大田原ふるさと大使・国際親善大使等の委嘱について
- ② 地域防災について
- ③ 黒羽藩の歴史遺産について

○大豆生田 春美 議員

- ① オリジナル婚姻届について
- ② 小学生の水泳教室について
- ③ 重度心身障害者医療費の助成について
- ④ ゲリラ豪雨の対応について

○深澤 賢市 議員

- ① 庁舎建設について
- ② 大田原市の環境行政について

○弓座 秀之 議員

- ① 市内道路整備計画について
- ② 本市への移住・定住促進の取り組みについて

○滝田 一郎 議員

- ① 栃木県の大田原地域雇用開発計画に対する本市の対応について
- ② 選挙のICT化及び投票率向上対策について
- ③ 産地パワーアップ事業等を活用した園芸振興について

○星 雅人 議員

- ① 学童保育の施設整備と保育の質の向上について
- ② 那須塩原駅東口エレベーターの設置について
- ③ 位置情報ゲーム等新しい技術への対応と有効利用について

○櫻井 潤一郎 議員

- ① 観光の振興について
- ② 農業の振興について

○秋山 幸子 議員

- ① 「子どもの貧困」対策について
- ② 大田原市の「非核平和都市宣言」について
- ③ 「道徳の教科化」について

○千保 一夫 議員

- ① 地域公共交通政策の在り方について
- ② 公契約条例を制定すべき
- ③ 日本版CCRC(首都圏の高齢者の地方移住推進)への取り組みは慎重にすべき
- ④ 市民が納める血税の使い方は大切に、また透明度も高めるべき
- ⑤ 6月議会の継続質問について

○高野 礼子 議員

- ① 新庁舎の整備計画について
- ② 健康経営について

○中川 雅之 議員

- ① 市政懇談会における各地区

の要望と本市の対応について
② 18歳選挙権導入における投票結果と今後の本市の考えについて
③ 大田原市子ども未来館の利用について

○本澤 節子 議員

- ① 「いのちを大切に」する市宣言について
- ② 放射能対策について
- ③ 教育体制の拡充について
- ④ 「高齢者が笑顔で百歳を迎えられる大田原市」に
- ⑤ 青年の働く場をどうつくるのか
- ⑥ 農業問題について
- ⑦ 市民の声

○君島 孝明 議員

- ① 観光行政について
- ② PR看板について
- ③ 道の駅那須与一の郷について
- ④ 消防サイレンについて

○鈴木 央 議員

- ① 市内の治水対策について
- ② 歩道の整備と安全対策について
- ③ 地域公共交通について

○小野寺 尚武 議員

- ① 総合計画の基本構想(案)について
- ② 都市計画税は廃止の方向性で考えるべき

○印南 典子 議員

- ① 大田原市の観光政策について
- ② 大田原市の防災・減災政策について

YOUR VOICE

●平山さん

私は議会傍聴をしたのが今回が初めてでした。議会の内容は議員の一般質問で。歴史遺産、環境行政、健康に関する内容でした。

また、議会を傍聴し活発な議論が繰り広げられているところが凄く思いました。積極的に発言をし、市民のために一生懸命に働いていることがよく分かりました。

これからも、議員の方々と市役所職員の方々の活躍を期待しています。

●小池さん

私は、インターンシップで大田原市役所にお世話になりました。その中で、初めての市議会の傍聴を経験しました。

市議会では、大田原市の環境や食べ物に関するものについて議論をしていました。また、大田原市の伝統的なお祭りや食文化について議論している様子を見学し、市の歴史を現代

においても生かしていこうという意気込みを感じました。普段中々できない経験をし、今後の生活に役立てたいと思います。

●高橋さん

私はインターンシップの一環として、市議会の傍聴をする事になりました。

実際に議会を傍聴するのは初めての経験でした。議会の内容は、大田原市に暮らす人々が安全に生活するための様々な対策について話し合いをしていました。いろいろな観点からの議論を聞き、自分の視野が大いに広がった気がします。今回の貴重な経験を活かし、自分の成長につなげていきたいと思っています。



傍聴席にて